



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月30日

上場会社名 株式会社 Jストリーム 上場取引所 東
 コード番号 4308 URL http://www.stream.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石松 俊雄
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 帰山 直之 TEL 03-5765-7744
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,254	5.9	198	△16.4	206	△16.0	210	50.1
29年3月期第3四半期	4,016	13.9	237	49.1	245	50.4	140	56.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 205百万円 (35.4%) 29年3月期第3四半期 152百万円 (48.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	18.13	—
29年3月期第3四半期	12.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	4,677	3,821	76.8	308.69
29年3月期	4,475	3,682	76.9	295.95

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,591百万円 29年3月期 3,442百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.40	5.40
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100	10.5	350	4.8	350	0.9	210	1.8	18.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	14,028,700株	29年3月期	14,028,700株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	2,395,452株	29年3月期	2,395,452株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	11,633,248株	29年3月期3Q	11,633,296株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報	２
（１）経営成績に関する説明	２
（２）財政状態に関する説明	２
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	３
２．四半期連結財務諸表及び主な注記	４
（１）四半期連結貸借対照表	４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	５
四半期連結損益計算書	５
第３四半期連結累計期間	５
四半期連結包括利益計算書	５
第３四半期連結累計期間	５
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項	６
（継続企業の前提に関する注記）	６
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	６
（セグメント情報等）	６

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかな回復基調が続き、極東での政治的不確実性の増大や国内政治の混乱はあったものの、株高が進み、全体として景気は拡大傾向で推移しました。インターネット業界、映像関連業界においては、4Kテレビの低価格化が進行し、VR(仮想現実)関連のハードウェアやAI、IoT関連サービスの発表が続き、成長性のある市場として注目を集めました。こうした環境下、当社グループでは、メディア関連や動画広告等成長性の高い市場開拓のための調査や投資を進めつつ、主力サービスである「J-Stream Equipmedia」や「J-Stream CDNext」、ライブ配信等、企業の社内における動画利用に関連して堅調な需要があるサービスの販売に注力しました。

販売面においては、医薬系業界を中心としたライブ配信や付随するコンテンツ制作等の案件の需要が堅調となり、その他の業界における受注も概ね安定して推移しましたが、WEB関連の制作受注は前年同期並みの推移となり、映像制作関連受注は前年を下回りました。

費用面においては、開発・運用体制の強化やライブ配信の案件増、制作系子会社における減員への対応等に伴い外注費が増加しました。また企画・開発等多方面において優秀な人員の確保を推進した結果、労務費が増加しました。販売費及び一般管理費については、特段の増加要因がなく、前年同期並の実績となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高4,254百万円(前年同期比5.9%増)、連結営業利益198百万円(前年同期比16.4%減)、連結経常利益206百万円(前年同期比16.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は210百万円(前年同期比50.1%増)となりました。

セグメントの売上は次のとおりであります。

(配信事業)

配信事業は、当社グループが保有する配信インフラ、ネットワーク、ソフトウェア資産を顧客に提供し、利用料を得る事業です。PC、携帯電話、タブレット型端末、スマートフォン等の各種端末を対象とするライブ配信及びオンデマンドストリーミング、ダウンロードサービスやCDNサービス、配信に伴って利用される付随する各種アプリケーションの提供等が含まれます。

当第3四半期連結累計期間においては、医薬系企業によるオンライン講演会等の情報提供に関連するライブ配信案件の受注が前年に比べ大きく伸長しました。また報道関連の大容量情報配信案件があり、ネットワーク売上増につながりました。これらの結果、当事業の売上高は2,538百万円(前年同期比11.1%増)となりました。

(制作・システム開発事業)

制作・システム開発事業は、ウェブサイトやシステム、コンテンツ等の制作・開発を顧客から受託し、成果物を提供する事業です。配信する映像等コンテンツの制作や、コンテンツを視聴する受け皿となるウェブサイトの制作、顧客が一般消費者向けに展開するコンテンツ配信ビジネスや情報提供サイトのシステム開発、更にこれらの運用受託等が含まれます。

当第3四半期連結累計期間においては、WEB制作関連ではスポーツ関連情報サイトの開発や医薬オウンドメディアの構築、企業の海外販売向けサイトの構築等を実施し、前年同期並の推移となりました。映像制作は医薬系企業での利用を中心に販売促進を図りましたが、子会社を含め軟調となりました。またシステム関連としてTV局VOD配信の追加開発を実施しました。これらの結果、当事業の売上高は1,583百万円(前年同期比3.6%減)となりました。

(その他)

その他の売上には案件の進行に伴い随時発生する、上記2事業にあてはまらない売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は、動画広告に関連するものに第2四半期連結会計期間に子会社化したイノクス社の機器販売等売上が加わり、132百万円(前年同期比50.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,420百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円減少しました。これは主に前期末の売掛金回収等の資金の増加要因を、賞与の前払いや子会社株式取得及びネットワーク設備関連の支出等の資金の減少要因が上回ったことによるものです。また、固定資産は1,256百万円となり、前連結会計年度末に比べ264百万円増加しました。これは主に配信系サービス機器及びソフトウェアの増加と子会社株式取得に伴うのれん計上によるものであります。

この結果、総資産は4,677百万円となり、前連結会計年度末に比べ201百万円増加しました。

(負債)

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は７３７百万円となり前連結会計年度末に比べ２９百万円増加しました。固定負債は長期リース債務の増加等により１１８百万円となり前連結会計年度に比べ３２百万円増加しました。

この結果、負債合計は８５５百万円となり、前連結会計年度末に比べ６２百万円増加しました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は３，８２１百万円となり、配当金６２百万円及び四半期純利益を計上した結果、前連結会計年度末に比べ１３９百万円増加しました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成２９年４月２７日に公表の連結業績予想から修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,329,043	1,152,047
受取手形及び売掛金	995,429	871,073
商品及び製品	—	12,904
仕掛品	25,596	64,333
預け金	1,000,000	1,000,000
繰延税金資産	22,356	62,639
その他	120,765	266,956
貸倒引当金	△9,822	△9,207
流動資産合計	3,483,369	3,420,747
固定資産		
有形固定資産	297,244	406,911
無形固定資産		
のれん	68,129	103,000
ソフトウェア	465,827	584,098
その他	8,359	7,901
無形固定資産合計	542,316	694,999
投資その他の資産		
投資有価証券	4,047	4,244
繰延税金資産	9,166	21,059
その他	139,575	129,646
投資その他の資産合計	152,790	154,950
固定資産合計	992,351	1,256,861
資産合計	4,475,720	4,677,609
負債の部		
流動負債		
買掛金	—	8,937
1年内返済予定の長期借入金	—	3,552
未払金	380,355	392,611
未払法人税等	114,825	15,763
賞与引当金	23,518	15,407
資産除去債務	3,167	—
その他	186,295	300,992
流動負債合計	708,163	737,264
固定負債		
長期借入金	—	4,072
退職給付に係る負債	14,741	15,705
資産除去債務	22,243	33,281
繰延税金負債	3,109	339
その他	45,370	65,018
固定負債合計	85,465	118,416
負債合計	793,628	855,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,182,379	2,182,379
資本剰余金	626,241	626,241
利益剰余金	1,093,268	1,241,340
自己株式	△459,221	△459,221
株主資本合計	3,442,668	3,590,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	248	384
その他の包括利益累計額合計	248	384
非支配株主持分	239,175	230,803
純資産合計	3,682,092	3,821,928
負債純資産合計	4,475,720	4,677,609

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,016,318	4,254,554
売上原価	2,298,053	2,532,658
売上総利益	1,718,264	1,721,896
販売費及び一般管理費	1,480,380	1,523,083
営業利益	237,884	198,812
営業外収益		
受取利息	4,507	4,251
その他	4,354	4,478
営業外収益合計	8,861	8,729
営業外費用		
支払利息	1,110	990
その他	-	217
営業外費用合計	1,110	1,207
経常利益	245,635	206,334
特別損失		
固定資産除却損	339	88
減損損失	2,478	-
特別損失合計	2,817	88
税金等調整前四半期純利益	242,817	206,246
法人税、住民税及び事業税	86,971	47,635
法人税等調整額	4,029	△47,000
法人税等合計	91,000	634
四半期純利益	151,816	205,611
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11,291	△5,279
親会社株主に帰属する四半期純利益	140,525	210,891

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	151,816	205,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	190	136
その他の包括利益合計	190	136
四半期包括利益	152,006	205,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,715	211,027
非支配株主に係る四半期包括利益	11,291	△5,279

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	配信	制作・ システム 開発	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,285,907	1,642,544	3,928,452	87,866	4,016,318	-	4,016,318
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	59,452	14,616	74,068	883	74,952	△74,952	-
計	2,345,360	1,657,161	4,002,521	88,749	4,091,271	△74,952	4,016,318
セグメント利益 又は損失 (△)	755,427	35,531	790,958	△35,799	755,159	△517,275	237,884

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連や案件受注に伴い発生するドメインの手配代行、機器販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△517,275千円はセグメント間取引△303千円及び配賦不能営業費用△516,971千円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、総務・経理部門等の管理部門に係る費用及び研究開発費等であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	配信	制作・ システム 開発	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,538,554	1,583,626	4,122,181	132,373	4,254,554	-	4,254,554
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	62,042	37,082	99,125	31,759	130,885	△130,885	-
計	2,600,597	1,620,709	4,221,306	164,133	4,385,439	△130,885	4,254,554
セグメント利益 又は損失 (△)	809,822	8,259	818,081	△44,312	773,769	△574,957	198,812

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連や案件受注に伴い発生するドメインの手配代行、機器販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△574,957千円はセグメント間取引△1,394千円及び配賦不能営業費用△573,562千円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、総務・経理部門等の管理部門に係る費用及び研究開発費等であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。